

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年7月10日

【評価実施概要】

事業所番号	0175700277		
法人名	有限会社 ビバグループ		
事業所名	グループホーム ビバ美園		
所在地	北海道岩見沢市美園6条6丁目26番地 (電話) 0126-24-6331		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成19年7月10日	評価確定日	平成19年7月23日

【情報提供票より】(平成18年12月19日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)15年4月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	26 人	常勤 5人, 非常勤 22人, 常勤換算	15.4人

(2) 建物概要

建物構造	木造2階準耐火 造り		
	2階建ての 1~2階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	26,500 円	その他の経費(月額)	10,000 円
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 840 円		

(4) 利用者の概要(12月19日現在)

利用者人数	15 名	男性 2 名	女性 13 名
要介護1	4 名	要介護2	5 名
要介護3	4 名	要介護4	2 名
要介護5		要支援2	
年齢	平均 82 歳	最低 71 歳	最高 89 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	竹内内科循環器科医院、竹内歯科クリニック、岩見沢脳神経外科
---------	-------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

職員が働きやすい環境整備を心掛け、皆明るく穏やかで利用者と馴染みの関係を築き一人ひとりの思いや意向を尊重してケアサービスの質の向上に取り組んでいる。また、利用者と家族の関係を大切に考えて利用料金は振り込みせずに毎月持参戴いて職員とのコミュニケーションも行われている。運営者及び管理者、職員はユニット毎に理念実現の為に具体的目標を掲げている。認知症ケアネットワークを作り職員同士の交流や研修会を開催して同業者との交流を通じたケアサービスの質の向上に取り組んでいる。また、運営推進会議も評価日現在3回実施され、地域交流についてなど意見交換が議事録として取りまとめられている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では緊急時の対応について継続的に実施される取り組みが期待されていましたが、火災避難訓練や救急救命、消火訓練など実技を伴う訓練が定期的に行われていた全ての職員が緊急時に速やかに対応できるように取り組まれています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価に取り組む中で、職員の研修の機会として捉えられケアサービスの質の向上に利用されています。管理者、職員は評価の意義を確認し合い理解が深められています。また、外部評価の結果については家族に報告され改善の機会として取り組まれています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、評価日現在3回実施され議題については 緊急時の訓練について 認知症ケアネットワークについて 地域の行事参加の計画について グループホームへの要望について 次回開催の運営推進会議の議題について
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 「ビバだより」や「ほこにこりぼーと」を定期的に発行して利用者の日常の暮らしぶりや餅つき大会、クリスマスなどのホーム行事参加の様子、イベント・行事の案内、運営推進会議の報告など家族に情報提供して、意見や不安などが言いやすい雰囲気づくりに取り組んでそれらが運営に反映されている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 「ビバだより」、「ほこにこりぼーと」の発行や運営推進会議、地域の祭りや行事参加など日常生活を通じて地域との連携が行われ認知症に対する理解や広報に取り組んでいます。また、認知症ケアネットワークを通じて同業者のグループホーム相互の交流・研修を通じて職員を育てる仕組みが構築されている。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	運営理念をもとに、ユニット毎に具体的に目標を設定して日常の業務の中で「地域の中でその人らしく暮らし続ける」を支えることを職員間で互いに確認し合い共有されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者、職員は理念のために具体的な目標を掲げ、その達成度について話し合わせフォローアップされている。また、理念実現のために日々取り組んでいる。		今後は、職員個々の目標をより具体的に設定して、その達成度について評価していく取り組みが検討されている。
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	花見や清掃作業、お祭りなど地域の行事に参加したり、中学生のボランティアの受け入れ、運営推進会議の開催など認知症に対する理解や広報の為に地元の人々との交流促進に取り組んでいる。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者及び管理者、職員は自己評価及び外部評価を実施する意義を良く理解しており、日々の業務の中でそれらを活かす取り組みがされている。また、自己評価や前回の外部評価結果についても運営推進会議に報告され具体的な改善に取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議については評価日現在3回開催されている。メンバーは利用者、家族、民生委員(地域の住民代表)、消防、運営者及び管理者・職員で構成され「サービス評価」を活かして具体的に取り組んでいる。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>事業所は市と運営推進会議の議事についての相談や連携について日々取り組んでいる。またグループホーム協議会、認知症ケアネットワークなどの役員をしていて地域のケアサービスの質の向上に寄与する役割を担っている。</p>		
<p>4. 理念を実践するための体制</p>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>「ビバだより」を定期的に発行して、利用者の日常の暮らしぶりや健康状態、行事参加の様子、運営推進会議の内容などそれぞれの家族に情報提供して信頼関係の構築に努めている。また、状態変化については都度電話連絡などで詳細に報告している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議での報告や要望など聞く機会を設けたり、アンケート箱を設置して家族が気軽に意見や苦情・相談が言えるように工夫し、それらを運営に反映させている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>過去1年間の職員の異動や離職は無く、働きやすい環境整備に心掛けている。また、アンケート箱を設置して家族が気軽に意見や苦情・相談が言えるように工夫し、それらを運営に反映させている。</p>		<p>職員は、皆仲が良く明るく、悩みやストレスが解消できる取り組みがなされ職員を育てる仕組みが整備されている。</p>


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>同業者とのネットワークが構築され、交流や研修が企画され実施されている。また、外部研修参加を積極的に奨励して参加者の報告会でフォローアップされたり、カンファレンスなどで職場内研修やOJTの実施がされ職員を育てる取り組みがされている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>認知症ケアネットワークで同業者との積極的な交流など開かれたグループホームである。また、相互訪問、研修会を通じて地域のケアサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人が安心して納得したサービスを利用するために、入居前には利用者・家族の見学などで不安を解消する取り組みや、場の雰囲気に馴染めるよう相談しながら工夫している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員も利用者と一緒に食事の準備をしたり、利用者一人ひとりの過去の大事な出来事や生活歴を把握して、職員が本人の気持ちになった支えあう関係を築いている。</p>		<p>今後は、センター方式について家族と相談しながらさらに生活歴を把握していく取り組みが検討されている。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	アセスメントに基づいて利用者一人ひとりの思いや意向を職員間で共有して、散歩や買い物、花見、紅葉見学など外出の機会を多く作ったり、習字、雑巾縫いや紙細工などの趣味への支援や食事の準備など本人の希望や意向を尊重した取り組みがされている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護支援専門員の適切な管理のもとに、利用者、家族の希望や医師からの助言・情報や職員からの意見を取り入れ具体的な介護計画となっている。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画書は、3ヶ月に一度定期的に見直しが行われている。また、利用者・家族の要望や利用者の状態変化に応じて都度、現状に即した介護計画の見直しが行われている。		バイタルチェック、水分・食事摂取量、排泄、排尿など具体的な個別の介護記録となっている。今後は、より簡素化された効率的な記録の様式など検討されている。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の状況に応じて、通院の支援や要望のある場合には散歩や買い物など柔軟に支援を行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	利用者それぞれの主治医との連携で気軽に相談できる医師が確保されている。また、利用者、家族の希望や要望に応じて状態変化などについても往診など適切な医療が受けられるよう支援されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、医療機関と連携して利用者・家族とも段階的に繰り返し相談しながら慎重に検討対応するよう職員間で共有されている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	記録等の個人情報の扱いについては、個人情報保護法に対応した配慮がされた取り組みが行われている。また、利用者一人ひとりの尊厳やプライバシーを尊重して声かけなど支援するよう取り組まれている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	アセスメントで個々の利用者の気持ちが把握され職員間で共有されている。また、利用者一人ひとりの思いを尊重してスーパーでの買い物や食事の準備、趣味への支援など本人の希望やペースに沿って支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と利用者が本人の希望や力量に応じて一緒になって楽しんで食事の準備をしている。食事は、職員と利用者が楽しみ和やかな雰囲気を出している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	日曜日以外は入浴日は決めずに利用者の希望に応じて対応している。また、ゆっくりとくつろいで入浴が楽しめるように支援されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者一人ひとりの過去の大事な出来事や生活歴が把握され、雑巾縫いや畑作業、掃除、食事の準備、習字、買い物など気分転換の支援が多くつくられている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	スーパーでの買い物、散歩、花見、紅葉狩りなど気分転換や心身のリフレッシュができるように積極的に外出ができるように支援されている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は、鍵をかけないケアに取り組んでいる。利用者が外出する時は、職員がさりげなく目配りして安全面で配慮されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>緊急時に全ての職員が速やかに対応できるように利用者と共に実技を伴う火災避難訓練や救急救命訓練が定期的実施されている。また、消火器の放水訓練も実施されている。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>具体的な食事摂取量が主食・副食毎に食事摂取表に記録され、栄養バランスやカロリーについてもおおよそ把握され支援されている。</p>		<p>今後は、市職員の講師を招いて栄養に関する講習などをホーム内で開催することも検討されている。</p>
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>廊下や居間には、椅子やテーブルが配置され一人になったり利用者同士談笑できるスペースが確保され、敷地内では畑作りや日光浴を楽しむことができ季節感や気分転換ができるように配慮された工夫がされている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室は、電話や仏壇、使い慣れた家具などが持ち込まれ安心して過ごせる場となっていて利用者一人ひとりの思いが伝わる空間作りとなっている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。